

## 第 3 章

# 計画の推進

## 1 計画の推進体制

### (1) 庁内推進体制

#### ①宇治市男女共同参画施策推進会議（以下、「推進会議」という。）

副市長を委員長として、市長公室長、危機管理監、各部長、理事、議会事務局長、消防長で構成し、本計画の推進に関する総合調整を行います。

#### ②宇治市男女共同参画施策推進会議幹事会

男女共同参画課長を座長として、関係課長で構成し、本計画の推進に関する具体的事項について検討します。

#### ③具体的施策担当課

具体的施策ごとに所管する担当課への積極的な取組の働きかけを行うとともに協力して取組を行います。

### (2) 宇治市男女共同参画審議会

本計画の推進に関する重要事項について意見を聞き、計画推進に反映します。

#### 〈宇治市男女共同参画審議会〉

「宇治市男女生き生きまちづくり条例」第26条の規定に基づき設置している地方自治法第138条の4第3項に定める市長の附属機関。

学識経験者や関係団体の代表及び市民代表で構成し、本市の男女共同参画の推進に関する重要事項について調査、審議等を行っています。

### (3) 宇治市男女共同参画支援センター

JR宇治駅前市民交流プラザ（ゆめりあ うじ）に設置している「宇治市男女共同参画支援センター」において、本計画に定める施策を具体的施策担当課の取組と併せて推進し、当センターを男女共同参画のための市民活動・市民交流の拠点として一層の活用を図ります。

### (4) 計画の周知

本計画を広く周知し、男女共同参画の推進に関する市民意識の醸成を図るとともに、市民等の積極的な実践活動を促進します。

## 2 計画の進行管理・評価・公表

### (1) 数値目標等の設定

本計画を実効性のあるアクションプラン（行動計画）とするため、できる限り具体的な目標値または指標値を設定します。とりわけ、本市における女性職員の管理監督者への登用、本市が設置する審議会等の委員の構成については、国の目標値を踏まえながら段階的に目標値を設定し、積極的に男女の均等を図るよう努めます。

### (2) 進行管理・評価

本計画は、推進会議において計画的に進行管理を行うこととし、数値目標に設定した項目については可能な限り毎年度、数値を把握し、施策の進捗状況の評価を行います。

また、施策の実施状況をとりとまとめ、宇治市男女共同参画審議会の意見を聞きながら、以後の施策に適正に反映させるよう努めます。

### (3) 実施状況の公表

「宇治市男女生き生きまちづくり条例」第18条の規定に基づき、本計画に関する施策の実施状況について年次報告書を作成し、市のホームページ等において公表します。

## 3 市民等との連携・協働の推進

### (1) 関係機関・民間団体等との連携

本計画を効果的に推進するため、国・京都府の機関や近隣市町村及び関係団体等と緊密な連携を図ります。とりわけ困難な問題を抱える女性等への支援については、配偶者暴力相談支援センター・女性相談支援センターの機能を有する「京都府家庭支援総合センター」及び「京都府南部家庭支援センター」をはじめ、京都弁護士会等の関係機関、また、困難な問題を抱える女性等を支援している民間団体と宇治市DV対策ネットワーク会議を通じて、より一層連携を強化します。

### (2) 市民等との協働

本計画の推進にあたっては、市民等が行う男女共同参画のための活動の一層の促進が重要であることから、本市と市民等との協働を積極的に推進します。

## 4 計画の推進にかかる目標値・指標値

### 基本方向1 多様な選択を可能にする男女共同参画意識の浸透

項目	第5次計画 策定時 (2020・R2)	現状値 (2024・R6)	目標値・指標値 (2030・R12)
「男女共同参画社会」という言葉の認知度※1	71.8%	69.2%	80%
「男女平等の考え方」が前進したとする人の割合 ※1	48.8%	52.1%	60%
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に反対する割合 ※1	52.7%	56.7%	70%

### 基本方向2 あらゆる分野における女性の活躍の推進

項目	第5次計画 策定時 (2020・R2)	現状値 (2024・R6)	目標値・指標値 (2030・R12)
ハラスメントへの対策を講じている事業所の割合 ※1	15.4%	32.3%	40%
本市管理監督者への女性職員の登用割合 ※2	22.1%	21.9%	25%
本市審議会等における女性委員の登用割合※2	28.6%	33.0%	40%
女性委員がない本市審議会等（女性委員がない本市審議会等の数/本市審議会等の数）※2	11/94	8/84	0

### 基本方向3 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現

項目	第5次計画 策定時 (2020・R2)	現状値 (2024・R6)	目標値・指標値 (2030・R12)
「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度 ※1	60.5%	67.2%	80%
本市男性職員の育児休業取得率（取得者数/対象者数）※2	11.1%	58.1%	85% ※3
育児を支援する対策を講じている事業所の割合 ※1	57.8%	58.1%	70%
介護を支援する対策を講じている事業所の割合 ※1	46.0%	50.5%	60%

### 基本方向4 安全・安心な暮らしの実現

項目	第5次計画 策定時 (2020・R2)	現状値 (2024・R6)	目標値・指標値 (2030・R12)
男女共同参画支援センター（ゆめりあうじ）女性のための相談窓口の認知度 ※1	18.4%	16.9%	30%
男女共同参画支援センター（ゆめりあうじ）男性のための電話相談窓口の認知度 ※1	7.7%	8.0%	20%
「デートDV」という言葉の認知度 ※1	27.4%	60.4%	70%

### 基本方向5 協働による男女生き生きまちづくりの推進

項目	第5次計画 策定時 (2020・R2)	現状値 (2024・R6)	目標値・指標値 (2030・R12)
地域活動へ参加したことがある人の割合 ※1	70.3%	66.4%	80%

指標値は、現状の数値に10%を加算し、1の位を四捨五入した数値としています。また、第5次計画策定時より現状値が下がっているものは、指標値を前回（R7）のままとしています。

※1は、指標値で、市民意識実態調査・事業所調査により把握する数値です。

※2は、目標値で、庁内関係課への進捗状況調査により毎年把握する数値です。

なお、目標値は、本市の状況や本市の他の計画の目標値等を踏まえて設定しています。国や京都府の動向を踏まえ、変更することがあります。

※3は、2週間以上の育児休業取得率とします。